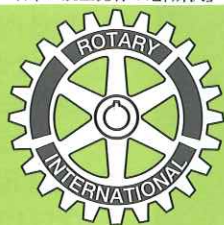


2019.7~
2020.6

マーク・ダニエル・マローニー
鈴木秀憲



R.I.第2570地区 第3グループ
所沢東ロータリークラブ

週報

2019年12月19日

第1422例会 PROGRAM

クリスマス家族親睦例会 (移動例会)

シンフォニーサンセットクルーズ 12月21日(土)



四つのテスト

- 1 真実かどうか
 - 2 みんなに公平か
 - 3 好意と友情を深めるか
 - 4 みんなのためになるか
- どうか



ROTARY CLUB
OF
TOKOROZAWA EAST

- 例会日：毎週木曜日(12:30~13:30)
- 例会場：ベルヴィザ・グラン
- 住所：所沢市星の宮1-3-5
TEL 04(2923)4122

- 事務局：所沢市星の宮1-4-17
TEL 04(2928)6363
- FAX 04(2928)6369
- E-mail：info@te-rc.com
- H P：http://www.te-rc.com

会長 新倉 良之
幹事 斎藤 高史
会報広報委員長 北村 隆幸



《結婚記念祝福》



《ご夫人・ご主人誕生記念祝福》 《会員誕生記念祝福》

皆さんこんにちは。NPO法人アクセプト・インターナショナル代表理事、永井陽右様、ようこそ所沢東ロータリークラブにお越しいただきありがとうございます。本日の卓話、非常に楽しみにしておりました。よろしく願いいたします。

8日(日)「こどもとうきち将棋大会」のお手伝いをしていただいた平岡委員長、巽会員、野本会員、斎藤幹事の皆様、ありがとうございました。

そして6日(金)安養坪村RCの26周年記念例会には、武藤パスト・小寺パスト・中島パスト・石井会員・齋藤正史会員・北村会員と私で参加いたしました。

例会前に宿泊ホテルに金永植さん(チャーターメンバーでパストガバナー)が来られ、前回のグローバル補助金の件で「所沢東ロータリークラブ会員の皆さまに対するお詫び」というお手紙をいただきその場で手紙を読まれました。内容は「まず、ウガンダの事業について地区から早く進めないと資金を地区の他の事業に回すと催促された、という事情がありました。慌てた余り、参加する他クラブとともに更に出資することとして事業を進めることにしました。安養坪村RC内部には来年に延ばすという意見もあったが、すでに声をかけて資金準備をしている他クラブにも失礼になるので、進めることとなりました。その過程で焦った気持ちもあり30周年の場で所沢東RCに参加要請をしましたが、その後クラブで協議中の段階で、今度は安養坪村RCから断る事態になりました。(時間的ナリミットがあ

ったのだと思います。)このことに関して安養坪村RC内部では、所沢東RCに謝るべきだという意見と、これを機会に所沢東RCが国際援助事業を行う場合には積極的に参加しようという意見があったそうです。このことを金パストガバナーが手紙で所沢東RCに伝えることになっていて、そのことをクラブ内で催促もされていたが、日本語で手紙を書くことの難しさもあって今まで延び延びにしていきました。心からお詫びします。」というものでした。

そのお話を受け「上田直前会長もお詫びの手紙を出しており、今まで国際奉仕に関してあまり積極的でなく、グローバル補助金に対しても無関心なクラブでしたが、国際奉仕に関して勉強会を開いたりして、会員の皆さんが国際奉仕に関心を持つきっかけになったことを非常に感謝しております。」ということをお伝えしました。

そして例会での祝辞の中でも、

「所沢東RCでは、声をかけていただいたグローバル補助金を使ったプロジェクトに結果として参加出来なかったことを踏まえ、国際奉仕について勉強を重ねています。次の12日の例会では、平和的にテロをなくす活動を通して国際貢献をしているNPO団体の代表に卓話をしていただき、所沢東RCの国際奉仕について参考にしていきたいと考えています。

そして所沢高等学校インターアクトクラブの提唱ロータリークラブとして、来年1月18日に「インターアクトクラブ結成認定状伝達式」を行います。所沢高等学校インターアクトクラブの中心メンバーはニュージーランドに留学したことをきっかけに国際貢献に興味を持ち、友達に声をかけインターアクトクラブを結成しました。また、現在アメリカからエドガー君が、青少年交換プログラムで8月から来日しています。青少年奉仕でも国際奉仕に繋がる活動をしています。

その上で、改めて安養坪村RCと所沢東RCで力を合わせ、グローバル補助金を使ったプロジェクトが出来たらと思います。」ということをお話致しました。

二次会では、安養坪村RC・台湾五股RC・所沢東RCで友情を深めました。台湾五股RCは来年5月で25周年を迎えるそうで、王会長より参加の依頼がありました。後日正式な招待がありましたら、理事会で協議したと思います。

7日に上田直前会長・井川会員も加わり、安養坪村RCの皆様と懇親会を開催しました。これまでの交流を通し、友情を深めてきたことで、安養坪村RCと共に国際奉仕が出来る下地が出来たと思います。次の機会には、安養坪村RCとグローバル補助金を使った国際奉仕が実現できたらと思います。

また今回通訳として、上田直前会長のお知り合いの森さん、齋藤幹事の娘さんの若葉さんと若葉さん

のお友達にも懇親会に参加していただきました。余談になりますが、今回の現地バスガイドさんは面白い方で、関心事が不動産と携帯ということでした。ソウルのマンション事情と5Gの最新スマホの話、さらに中身は省略しますが、身の上話を延々と話していて、バスの移動中はほとんど観光の話をしていませんでした。逆にすごく印象に残る3日とはなりました。

私自身としては2年連続の韓国訪問で、それもエレクト・会長という立場で参加し、非常に貴重な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

■ホストファミリーへ補助金贈呈致しました



エドガー君のホストファミリーは、木曾さんから市村さんになりました。



青少年オリエンテーション
紫雲閣 12月15日(日)



2018-2019年度 イタリア・フランス・インドネシア・メキシコへ留学した学生さんたちが帰国報告プレゼンテーションを行いました。



中島委員長ご挨拶

卓話「テロを止める、紛争を解決する」
NPO アクセプトインターナショナル
代表理事 永井陽右 様

代表理事 永井陽右様は、大学一年生の時に日本ソマリア青年機構を設立しました。2017年に改称及びNPO法人化し、現在はテロと紛争の解決に向けて尽力されています。

国際社会におけるテロの被害は甚大であり、様々な問題を抱えています。とりわけソマリアのテロ被害は規模も大きく、多数の死傷者が出ています。また難民の問題も深刻で、一刻も早いテロの無い世界の実現が重要な課題となっています。そこで、テロをなくすには、テロリストを更生させ、テロリストがこの世から根絶させよう、そのための若者の更生プログラムを支援しているとのことでした。



ニコニコボックス 第1421回例会 12月12日

新倉 良之 こどもとうきち将棋大会のお手伝いをいただいた皆様、安養坪村RC訪問をした皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。本日の卓話 NPO アク

セプトインターナショナル代表理事の永井陽右様、大変楽しみにしておりました。よろしく願い致します。

木曾 晴夫 先週は組合の会合で欠席をしました。ニコニコします。

工藤 裕貴 本日は早退させていただきます。

斎藤 高史 安養坪村RC創立記念例会、お疲れ様でした。留学中の次女と合流したようですね。旅行メンバーの皆様にはお世話になり、ありがとうございました。本日は勉強会のため早退します。申し訳ありません。

齋藤 正史 安養坪村RC 26周年創立記念例会に参加してきました。26周年もここまでやるのかと、圧倒されました。

野本 俊光 こどもとうきち将棋大会は無事盛況のうちに終了しました。今年はインフルエンザをうつされる事もなく、今のところ元気です。来年も担当する予定で、開催時期が心配です。

平岡 栄一 先日の母の葬儀では会葬していただき誠にありがとうございました。またお手伝い頂きました会員の皆様には御礼申し上げます。

丸橋 宏 本日にてグランでの例会は最後になります。一年間ありがとうございました。来年も引き続きよろしく願い致します。

本日合計 30,000 円 累計額 429,256 円

■クリスマス例会（移動例会）
シンフォニーサンセットクルーズ

